

経営比較分析表（令和6年度決算）

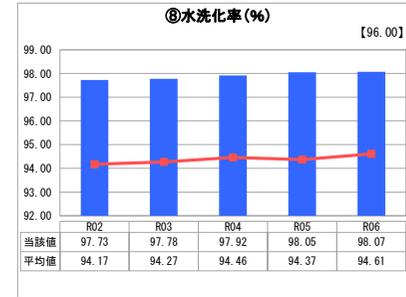
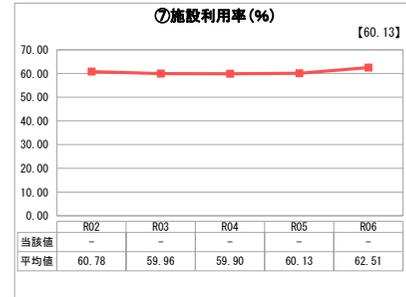
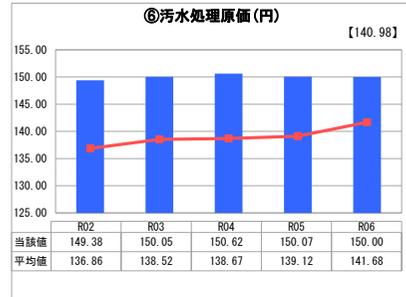
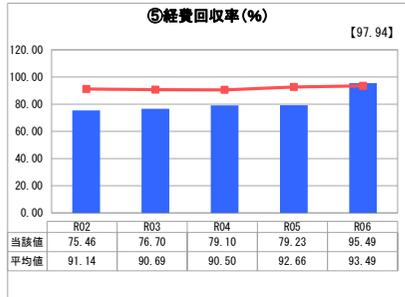
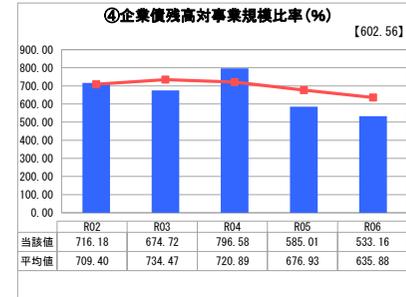
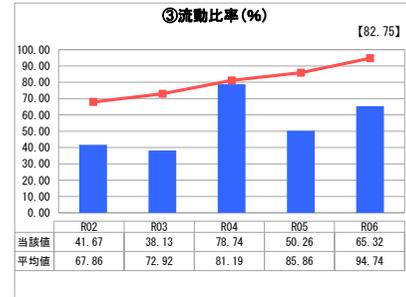
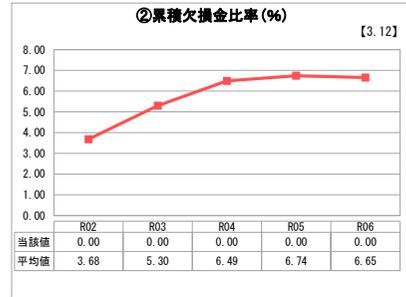
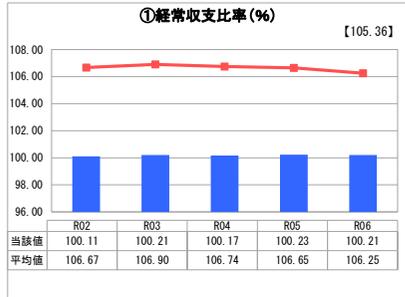
神奈川県 寒川町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bc1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	70.76	93.59	83.65	2,568

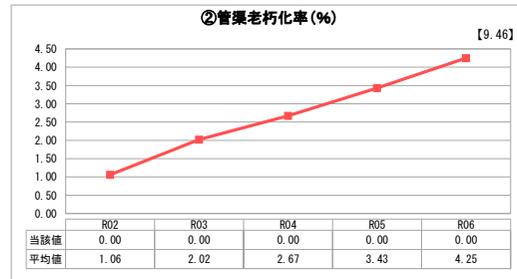
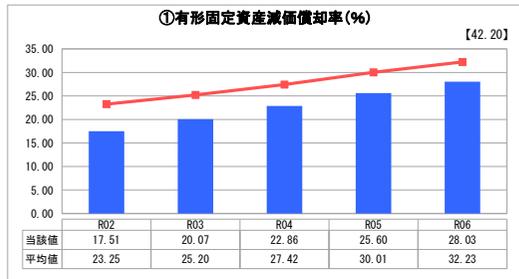
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
48,997	13.34	3,672.94
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
45,756	7.69	5,950.07

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
[] 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

「①経常収支比率」は100%を超えています。 「⑤経費回収率」は95.49%と前年度より大幅に増加したものの、未だ本来使用料で回収すべき経費で全て賅っていない状況が続いています。使用料水準の更なる適正化、経費削減を図り、経費回収率の改善を、社会的情勢を鑑みながら、適切なタイミングで図る必要があります。

「③流動比率」はいまだ類似団体平均値を下回っている状況です。これは、保有現金に対して企業債等の支払額が高いためです。

「④企業債残高対事業規模比率」は1990年代における集中投資の企業債、令和4年度における大型な都市計画事業に伴う多額な企業債の発行が現在の財政負担として影響していますが、債務償還により減少しています。

「⑥汚水処理原価」は近年150円前後で推移しています。「⑦施設利用率」は該施設がないため計上がありません。

「⑧水洗化率」は微増ですが、類似団体平均値より高い数値です。

2. 老朽化の状況について

「①有形固定資産減価償却率」は、年々増加しており、今後も改築更新等が進むことで増加傾向となる見込みです。

「②管渠老朽化率」は法定耐用年数（50年）を経過したものがないことから0%です。

「③管渠改善率」は、今年度の実施がないため、0%となっていますが、令和8年度に改定を行うストックマネジメント計画に基づき計画的、効率的な管渠の改善に努めてまいります。

全体総括

全体の経営状況としては、経費回収率や流動比率が全国平均に比しても低く、下水道使用料で賅うべき費用や資金面の不足を示しており、補助等による他会計資金に頼って運営する状況です。今後はこれまでの経営状況を見直し、令和8年度に改定を行う経営戦略に基づく使用料改定による収益改善とストックマネジメント計画に基づく適切な施設管理による投資の平準化を行い、独立採算による財政基盤を整え、将来の経営環境に即した持続可能な下水道事業を行えるよう努めてまいります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。